

特集

但馬の未来をデザインする

TAJIMA
Design

菓子でまちをブランディング 豊岡市

お菓子の聖地「豊岡」を全国に発信する

「菓子の聖地」としてまちを売り出す お菓子のルーツが「但馬」にある！



中嶋神社の祭神・田道間守命(たじまのりのみこと)は、「菓祖」(菓子の神様)として崇敬を集めている。京都や九州、四国に分社が建てられており、4月の第3日曜日に行われる「菓子祭」では、各地から菓子業者が参拝に訪れる。



但馬の開拓神である天日槍(あめのひぼこ)の祖孫にあたる田道間守命(たじまのりのみこと)

お菓子の神様を祀る

「豊岡に菓子のルーツがある」。このことを知らない人は意外に多い。豊岡市では今、「菓子」をシンボルとして、観光や産業振興に活かそうとした動きが起きている。

豊岡市三宅にある中嶋神社は、菓子の神様を祀る神社。御祭神である「田道間守命」は、第11代垂仁天皇に命ぜられて常世の国に渡り、不老長寿の妙薬といわれる「非時香果」を持ち帰ったとされる。この実は橘を表すとされ、菓子の最上品として珍重されていたという。以来、田道間守命は「菓子の神様(菓祖)」として祀られるようになり、現在、全国の菓子の本社として崇敬を集めている。

これは古事記や日本書紀に伝えられ、但馬にある豊岡が「日本の菓祖のふるさと」といわれる所以である。

4月の第3日曜日には菓子祭を開催。菓子業界の発展を祈願し、全国から菓子業者が参拝に訪れている。

春 HARU SWEETS
KATASHIMA 2012
Nous esperons que vous souriez des que vous verrez nos gateaux...
Nous sommes certains que notre gamme de gateaux vous comblera de joie et de bonheur.

ケーキを見たとき笑顔になっていただきたくて...
たくさんのお菓子がみんなを
幸せにしてくれると信じ
いっぱいのおまごと遊びこころを少々。



PÂTISSERIE CAFE
KATASHIMA
<http://www.katashima.co.jp/>

養父本店	TEL 079-664-0351	AM 9:00~PM 9:00
竹田店	TEL 079-674-2851	AM 8:00~PM 8:00
豊岡店	TEL 0796-24-0618	AM 10:00~PM 8:00
福知山店	TEL 0773-24-2451	AM 9:00~PM 8:00

2012年6月
丹波店OPEN予定

カタシマ

検索

クリック



開会前に行われた「菓祖神祭式(上)」では、欄宜・大垣豊樹さんが豊岡の菓子業界の繁栄を祈念した。前日祭当日は天候がよくなかったにも関わらず、1万5千人もの人出で賑わった。

菓子でまちを元気に…

「菓子のルーツ」という、全国に誇れる地域の財産。豊岡市商店街連合会の朝日健司さんは、「中嶋神社は他県の菓子イベントでも紹介される由緒ある神社。全国的な認知があることに市内の人が意外に気づいていない」と話す。しかしながら、このシンボリックな資源を活かしきれていないという現実がこの町にはあった。

「豊岡が『日本の菓祖のふるさと』という、全国に誇れる財産を活かさないのはもったいないと思いました」とは、豊岡市経済部長の谷岡慎さん。「菓子の聖地」として、豊岡が全国区で名をあげる可能性を十分に秘めていると熱く話す。

「日本という冠を掲げてアピールで

きる。大きな武器だと思えます。豊岡は「菓子」をブランド化していく上で、他の地域にはない歴史と価値を持つているんです。これも菓子祭が地域で大切に守られてきたからこそ。この価値をもっと理解してほしい」と、谷岡部長は続けた。

「せっかくのコンテツを活かす方法はないのか」。この鬱積した状況を打破したのは、商店街の会合で「豊岡春まつり」のあり方について議論を投げかけたことがきっかけだった。

市中心部の商店街で行われていた春まつりは、豊岡市制施行を記念して昭和25年に始まった歴史のあるお祭り。近年では娯楽の多様化などによつて、かつての活気を失っていた。

「同じ時期に開催される中嶋神社の菓子祭と連動できないか。豊岡の春を菓子で『色』にしよう」。

こうして開催されたのが、平成22年4月に行った「豊岡菓子フェスタ」だった。従来の「春まつり」に新たな要素を加えたイベント。来場者数は3千人を上回る大盛況となる。

さらに6月には、豊岡青年会議所が「豊岡夢(ドリーム)〜集まれ!お菓子スタジアム〜」を主催。夢のお菓子を募集して実際のお菓子にしたり、「たちばなくん」と命名されたキャラ

クターを作るなど話題を呼んだ。

この年は「菓子」の持つ魅力が再認識されるとともに、「菓子」が観光資源、地域活性化の起爆剤となると認識した瞬間だったといえる。

そして昨年、中嶋神社例大祭と合わせた祭りが行われることになる。その名も「菓子祭前日祭」。永い歴史を持つ中嶋神社での菓子祭の前日にまちなかで開催することにした。

目玉はカバンストリート(宵田商店街)を歩行者天国にした、市内の和洋菓子店38店舗を集めたお菓子の直売。「果たして本当にお菓子が人が来てくれるのか」。主催者の中でも、半信半疑な気持ちで交錯していた。

「当日は今にも雨が降り出しそうないにくの天気。近くに大きな駐車場があるわけでもありません。まして屋外でお菓子を販売するということに反対意見もありました。しかし、そうした不安はすぐに杞憂に終わりました」と、事務局を務める豊岡商工会議所の池田敦俊さん。

10時開催にも関わらず、女性や家族連れを中心として人の数は見る見る内に増えていった。商店街に住む人の中には、「こんな人出は生まれて初めて見た」と驚く人がいたほど。午前中で商品が売れ切れてしまう店が続

かまぼこ屋さんのスイーツ

kamaboko ya san no sweets



しっとりふわふわ。気になる存在! かまぼこ屋のちーずけーき



すぐに売り切れてしまう人気商品! 数量限定ちくわパン



毎週日曜限定商品

ザクザク食感のパン竹輪と明太ウエス。ちうと大人な明太ちくわエビ

こだわりの蒲鉾・竹輪&揚げたての天ぷらを工場直売



おかげさまで90年
かまぼこ
http://www.futakata.co.jp
*8:30~17:00 土曜定休
兵庫県豊岡市瀬戸757-1 TEL.0796-28-3121

真価が問われるのは2年目から 次はまちづくりとの連携が大切

出する中、集客目標の倍以上となる1万5千人が集う大イベントとなった。「智恵と工夫を凝らせば、人を呼べるということを実感。お菓子の持つ力にも、改めて驚かされましたね。2

洋菓子を含めて募集しました。今回の祭りを通じて、菓子の聖地を意識づけてきたことは、将来に向けた大きな一歩です」

成果を挙げた「菓子祭前日祭」。さらに谷岡部長は、まちづくりの中に菓子が結びつくことが大切だという。

回目となる今年は駅通りに舞台を変え、市外からのゲスト出店も予定しています」と、池田さんは話す。

関係者は「これからが大事」と話す。

また、谷岡部長は「オール豊岡」として祭りを提案した。

「豊岡菓子フェスタは旧豊岡市の菓子業者のみでした。前日祭はお店を

現在の豊岡市全体から和菓子、

「将来的には全国から菓子業者が集まるようにしたいと思っています。だからこそ、開会に先立って『菓祖神祭式』と題し、中嶋神社の棚宜^{ねが}さんに神事をお願いしました。菓子の聖地として、全国に発信できれば」と、朝日さ

ん。今回は実行委員長を務め、さらなる飛躍に期待をかけている。

まちづくりとの連携

「春が近づくとお菓子が待ち遠しいというぐらいい、菓子祭と前日祭を定着させたい」と話す実行委員会のメンバーたち。

全国の菓子業者を巻き込んだ「日本の祭り」として認知されるよう、「豊岡・但馬の春を代表

する祭り」として育てたいという。そのためには、菓子を地域のブランドとしていくことへの理解や、菓子業者の連携推進などの課題も多いと続けた。

「イベントはあくまでも一過性のもので、地域とお菓子が結びつきを強めるためには、『まち』とものと接点を持つことが必要です。市役所を中心とした市街地は北但大震災後の復興建築群が数多く残り、魅力ある観光資源が眠っています。都市計画に基づいたまち並みで、歩いてみるととても面白い。まち歩きとお菓子をからめて、『まち』との結びつきを強めていくことが大事です」

「菓子」をシンボルとしたまちづくりが動き始めた豊岡市。ほんの少しのアイデアと工夫で、大きく物事が変わることを教えてくれた。資源の掘り起こしが各地で行われる昨今、ダイヤモンドの原石を生かすも殺すも、その地域に住む人次第といえるだろう。協力：豊岡市役所・豊岡商工会議所・豊岡市商店街連合会

●4/15(日)は中嶋神社菓子祭、4/14(土)は菓子祭前日祭を開催。詳細は15ページのイベント情報で。



菓子祭前日祭では和洋菓子38店舗が軒を並べた。その内、7店が、新作・限定商品を考案し、当日デビューを飾った。今年も初お目見えのお菓子や当日限定商品が並ぶという。

～共に生きる
この街を元気に～



但馬信用金庫



「但馬・理想の都の祭典」って？

平成6年(1994)に但馬全域で展開された、「但馬理想の都の祭典」。約1年間にわたり、「人・海・森・里・空」をアピールする5つの文化展を始め、300を超える多彩なイベントが開催されました。但馬を訪れた観光客は約1,300万人、但馬内での地域間交流も増え、但馬人が「但馬」を見直すきっかけとなりました。



歴史文化を紹介した「大但馬展」



但馬空港開港を記念した「空の文化展」

20周年に向けてキャンペーン事業を展開!!

現在、祭典から20年目を迎える平成26年を「但馬再生」の節目として、新たな可能性に挑戦する記念事業の企画・準備が進められています。昨年から「ないものねだり」ではなく、「あるもの探し」をテーマにオンラインの但馬を目指して、地域資源の掘り起こしやキャンペーン活動を展開。但馬の住民が主人公となるこのプロジェクトには、但馬人の熱い思いと行動力が必要不可欠です!このコーナーでは、但馬を盛り上げる「キラリと光る但馬人」を紹介していきます。

vol.4 [但馬夢テーブル委員会 但馬の自慢話発信隊]

●但馬ってこんなにすごい! 魅力を再発掘!

「但馬夢テーブル委員会」とは、公募で選ばれたメンバーにより、兵庫県が設置した委員会。「但馬地域ビジョン」の示す将来像の具体化に向けて取り組んでいる。また、祭典20周年に向けてキャンペーン活動も実施。自慢話発信隊もその中のひとつ。現在は5期生12人により、但馬の魅力を発信している。(4/1より6期生)



リーダー
浮田 喜弘さん

(問) 但馬夢テーブル委員会事務局
(但馬県民局 県民協働室ビジョン課)
【所】 豊岡市幸町 7-11 0796-26-3615
<http://web.pref.hyogo.jp/area/tajima/vision.html>

「但馬の誇れる魅力を発信したい」という想いで集まった「但馬の自慢話発信隊」は、但馬県民局が設置した「但馬夢テーブル委員会」のグループのひとつ。但馬の魅力や埋もれた財産を発掘し、但馬内外にPRしようと様々な取り組みを行っている。

自慢話隊が結成され、今年で3年目。1年目は山陰海岸ジオパークを地元の人々に知ってもらうと写真展を開催。「まずは自分たちが勉強して知ることから始めます。その中で、自分たちがおもしろいと感じたものを発信していくんです」と、リーダーの浮田さんは話す。

写真展に至るまでに、講師を呼んで勉強会を開いたり、地元ガイドとジオサイトを訪ねたりと、自ら足を運んで情報収集を行うことを心がけた。

また、菓子ふるさとである「但馬」を広めようと、PR冊子を制作。昨年但馬ドームで開催された「但馬まるごと感動市」では、但馬自慢の和・洋菓子が集合した「TAJIMAスイーツストリート」を企画。多くの人で賑わい、好評を博した。

「自分たちの活動で町が元気になってくれるとやっぱりうれしい。自分の但馬に対する知識がどんどん増えていくのもおもしろいですよ」と浮田さん。

今後は、お菓子のPRの継続も含め、また新たな但馬の自慢を再発掘し、再来年の「但馬理想の都の祭典20周年」に向けての下準備を行う予定だ。

知っているようで知らない但馬の誇れる魅力。次はどんな自慢を発信してくれるのか楽しみだ。

但馬理想の都の祭典20周年(2014年)へ向けて、「但馬を盛り上げよう」と頑張っている「但馬人」を紹介!!

●但馬まるごと感動市

自慢話発信隊で「型抜き菓子」の体験コーナーを設置。「遊ぶお菓子」として紹介し、お菓子がふれてもらった。懐かしい遊びに、子どもよりも親が熱中していたそう。



●TAJIMAスイーツストリート



豊岡青年会議所(豊岡JC)が生んだ「お菓子のふるさと但馬」のイメージキャラクター「たちばなくん(右)」。みんなでお菓子を盛り上げようという取り組みが行われている。



●フリーペーパー「TAJIMAN(たじまん)」

地元の人々がどれくらいお菓子と但馬の関係について知っているのかアンケート調査をしたり、自分たちで取材に行き、冊子を作成した。但馬地域の道の駅などで無料配布している。



「たじまジオ写真展」を開催するまでに行われた研究会の様子。

但馬の自慢を再発掘&PR!

竹中司法書士事務所

●不動産登記 ●商業・法人登記 ●相続 ●裁判事務



兵庫県豊岡市泉町6-8

司法書士・行政書士
竹中 博司
司法書士 中田 治子
司法書士 松岡 英樹

TEL. 0796-23-4111

FAX. 0796-23-4161

MAIL. takenakasihousyosi@sage.ocn.ne.jp

絵手紙のれん展

期間: 3月25日~4月22日

場所: 香美町香住区森 405-2

絵てがみぎやらいい ホツと蔵

お問い合わせ

0796-36-3788(ホツと蔵)

0796-43-2880(絆工房マジック)

絆工房 検索

協力

株式会社トキワ